

一般教育訓練明示書

講座の名称	学校教育研究科道德教育専攻													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	1	2	2	0	5	—	1	8	1	0	0	1	—	2
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成30年4月1日					過去一年の講座実績		入講者数(累積)(0人)				修了者数 (0人)		
訓練期間	24ヶ月							総訓練時間				338時間		
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル							修士(教育学)							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称							麗澤大学大学院							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等							所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、学位論文の審査及び最終試験に代えて、「特別研究実践報告書」の審査及び最終試験をもって修了する場合は、通常の修了要件に加えて4単位を修得しなければならない。							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況							学校(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校)の教員及び教育機関の職員							
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)								時間			使用教材名			
1. 基礎科目 6科目12単位								135.0時間			授業によって異なるため、詳細はシラバスを参照			
2. 専門科目 5科目10単位								112.5時間						
3. 実習科目 1科目2単位								22.5時間						
4. 特別研究 3科目6単位								67.5時間						
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等							特になし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準							大学の学部卒業(見込み)あるいはそれと同等以上の学力を有すること。加えて、小学校教諭又は中学校教諭の1種免許状を取得していること(当該年度内に取得見込みであること)。							
③その他							特になし							

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 昨年度内の受講修了者数	0	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(②/①)	0.0	%
③ ②のうち合格者数	0	人	合格率(③/②)	0.0	%
④ 上記②・③の回答者数	0	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		授業科目の履修単位は、授業での提出物、課題に対する報告書、試験等により認定する。成績評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階とし、S、A、B、Cを合格とする。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
<p>所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、学位論文の審査及び最終試験に代えて、「特別研究実践報告書」の審査及び最終試験をもって修了する場合は、通常の修了要件に加えて4単位を修得しなければならない。</p>					

一般教育訓練明示書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																					
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教員が定期的かつ継続的に履修指導や研究指導を行うとともに、副指導教員も適宜助言を行い、補完的に研究指導に携わる。また、大学院事務室の職員が、修学全般に関する支援を行う。																				
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	指導教員や副指導教員が適切に指導を行うほか、本学キャリアセンターで必要な情報の提供や支援を行う。																				
8. その他の事項																					
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 廣池学園 (代表者名: 廣池 幹堂)																				
住所及び連絡先	〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL 04-7173-3111																				
施設名称及び施設長名	麗澤大学大学院 (施設長: 中山 理)																				
住所及び連絡先	〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL 04-7173-3601																				
給付制度担当部署・者	大学院グループ (担当者: 柳原 佳弘)																				
連絡先	TEL 04-7173-3633																				
一般教育訓練経費 支払い方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)</td> <td style="text-align: right;">1,640,000 円</td> </tr> <tr> <td>① 一括払</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>② 分割払</td> <td style="text-align: right;">1,440,000 円</td> </tr> <tr> <td>③ 両方可能</td> <td style="text-align: right;">(うち、必須教材費 0 円)</td> </tr> <tr> <td>2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)</td> <td style="text-align: right;">597,486 円</td> </tr> <tr> <td>① 副読本代(税込額)</td> <td style="text-align: right;">117,486 円</td> </tr> <tr> <td>② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>③ 施設維持費(税込額)</td> <td style="text-align: right;">400,000 円</td> </tr> <tr> <td>④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込)</td> <td style="text-align: right;">80,000 円</td> </tr> <tr> <td>3. 総額 (1+2) (税込額)</td> <td style="text-align: right;">2,237,486 円</td> </tr> </table>	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	1,640,000 円	① 一括払	200,000 円	② 分割払	1,440,000 円	③ 両方可能	(うち、必須教材費 0 円)	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	597,486 円	① 副読本代(税込額)	117,486 円	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円	③ 施設維持費(税込額)	400,000 円	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込)	80,000 円	3. 総額 (1+2) (税込額)	2,237,486 円
1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	1,640,000 円																				
① 一括払	200,000 円																				
② 分割払	1,440,000 円																				
③ 両方可能	(うち、必須教材費 0 円)																				
2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	597,486 円																				
① 副読本代(税込額)	117,486 円																				
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円																				
③ 施設維持費(税込額)	400,000 円																				
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込)	80,000 円																				
3. 総額 (1+2) (税込額)	2,237,486 円																				

[特記事項]

副読本代は履修する科目により異なる(表示している金額は、全ての科目で使用予定の教材費を合算したもの)。

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) 一般教育訓練給付の支給対象となる教育訓練経費とは、教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料（最大1年分）に限られます。

(2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

(3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

(4) 一般教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、かつ、修了した場合のみ支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、又は修了試験等を受験等した場合には、一般教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあっては、当該教育訓練を修了したものと認められていませんので、一般教育訓練給付金の支給を受けることはできません。